



きらめく



熊本支援学校長だより R3. 6月号

6月も終わりに近づき、1学期も残り1ヶ月となりました。梅雨の時期で、雨の日は少し肌寒く、晴れの日も蒸し暑い状態で、体調管理が難しい季節です。湿度も高いので、熱中症に気をつけてほしいと思います。室内にいるときにも熱中症になりますので、こまめに水分を取ることが大切です。

「くまよう会」運営委員会

「くまよう会」は熊本支援学校の同窓会の名称です。6月8日（火）に新旧の運営委員の方が本校に集まれ、今年度の行事について話し合われました。例年であれば、体育祭や販売会で卒業生やその保護者の方ともお会いする機会がありました。総会の時には、ボウリング大会があり、多くの方が参加され、卒業後の話を聞くことができました。昨年度は新型コロナウイルス感染予防のため、お会いする機会が少なかったです。運営委員会では、久しぶりに高等部卒業生の保護者の方とお会いし、卒業生の近況を聞くことができました。それぞれの道で頑張っている様子を伺い、とてもうれしく思いました。

出水南小学校との「夏の交流集会」

出水南小学校との交流は、今年度で41年目となります。週1回の交流は小学部の児童と出水南小学校の4年生で行いますが、年2回夏と秋に出水南小学校の全児童との交流があります。昨年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、実施していませんが、今年度は、リモートで6月11日（金）に「夏の交流集会」を行いました。出水南小学校から、各クラスの交流の目標の発表、4年生の「お誕生日の歌」があり、本校から、「ともだっち」の踊りを披露しました。リモートでの交流でしたが、それぞれ工夫した発表を行い、子どもたちは、「楽しかった」という感想を述べていました。秋の交流集会も楽しみにしています。

学校運営協議会

6月15日（火）に本校のみで、6月23日（水）に湧心館高校と合同で、学校運営協議会を実施しました。本校のみの協議会では、学校概要と学校運営について校長から説明し、学校評価について副校長から説明しました。その後、「今後の熊支の在り方を見据えた学校づくり」について協議しました。多方面からいろいろな意見が出ました。今後の学校運営に活かしていきたいと思えます。湧心館高校との合同の協議会では、各学校の防災行事計画・避難所等について防災主任から説明し、市役所の方から地域の防災についての説明がありました。警察や消防署の方も委員として入っておられます。地震も心配ですが、学校は浸水想定区域になっています。近隣の学校、地域の方との連携を図り、いざという時に備えることができるようにしたいと思えます。